



▲廃食油を利用したローソクづくり

市民主導で福祉マップ作成 ～第1回福祉マップ作成市民会議～

7月30日(月)、総合福祉センターしんた21で『第1回福祉マップ作成市民会議』が開催され、構成メンバーの福祉関係団体やボランティア団体の代表者、一般公募の方など20人が初顔合わせをしました。

この市民会議は、体に障害のある方やお年寄りなどハンディキャップを持つ方が、バリアフリー化された施設を的確に把握し、利用することで行動範囲を広げてもらうことを目的に、市民主導で利用者の立場に立った『福祉マップ』を作成するもの。この日は、現在の問題点や改善点などの意見交換が行われ、今後は、年度内のマップ完成を目指し現地調査などを行います。



北海道の歴史を学んだ

～北海道開拓記念館2001移動博物館～

北海道開拓記念館開館30周年事業『2001移動博物館』が、7月31日(火)から8月5日(日)までの6日間、市民会館で開催されました。

この事業は、北海道の歴史を学んでもらうことを目的に、『ぼくらのまちをタイムトラベル! - 100年前と今、そして100年後』をテーマに、利尻町や奥尻町に引き続き開催されたもの。

会場には、北海道開拓記念館が所蔵する昔の蓄音機の展示や小・中学生が描いた『登別の100年後』の絵画約200点、登別の昔のまち並みの写真パネルなどが展示されたほか、『登別の20世紀そして21世紀』と題した座談会や、ピンホールカメラ作りの体験学習が行われ、多くの方が会場を訪れました。



あなたが主役のリサイクル

～リサイクルまつり～

7月22日(日)、ごみ処理施設クリンクルセンターで『リサイクルまつり』(リサイクルまつり実行委員会主催)が開催され、約8,000人の市民が会場を訪れました。

この催しは、クリンクルセンターのオープン1周年を記念し、『あなたが主役のリサイクル』をテーマに行われたもので、家庭で不要になった衣服などを格安の値段で販売する『クリンクル市』をはじめ、家具や自転車など再生展示品71点の無料抽選会、クリンクルセンターの高速堆肥化処理施設で作られた堆肥の無料配布、『リサイクル生活展』、『リサイクルアート展』などリサイクルの大切さを啓発するさまざまな催しが行われました。

リサイクルの実演コーナーでは、たくさんの親子が、温めた廃食油に思い思いの色の塗料を流し込んでオリ



▶紙パックを利用したはがきづくり

ジナルのローソクを作ったり、紙バックを利用して再生紙のはがきづくりなどに挑戦し、リサイクルの体験をしました。

鬼気分の2日間

～鬼フェスタ2001～



登別のシンボル『鬼』をテーマにした『鬼フェスタ2001』(同実行委員会主催)が8月11日(土)、12日(日)の2日間、登別サティ駐車場を会場に開催されました。

『鬼フェスタ』は、鬼をモチーフにした人づくりやまちづくりを目的に昨年から行っているもので、今年、鬼のメイクを施した子どもたちが大きな声を競い合う『大声コンテスト』や、風船を割る速さを競った

『風船割りゲーム』、『ジュース早飲み大会』などのイベントが行われたほか、登別市子ども会育成連絡協議会による手作りの露店11店が並び、真っ黒に日焼けした子どもたちでにぎわっていました。

また、夜には、同協議会による『子ども盆踊り大会』が行われ、子どもたちの描いた鬼の絵で飾られたやぐらの周りには、浴衣姿の親子らが楽しそうに踊る姿が見られました。